

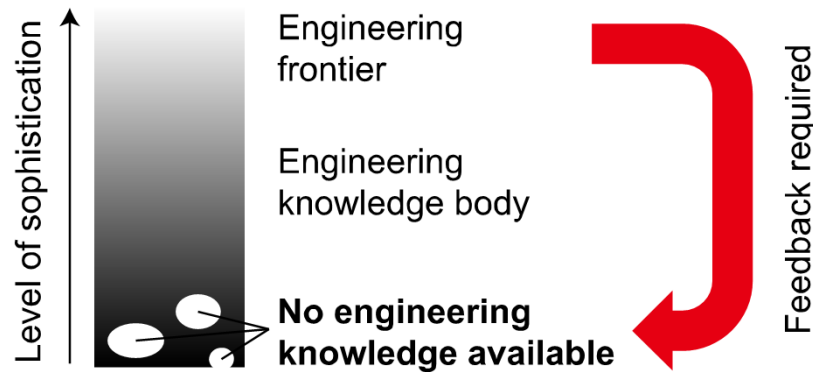
主催: 京都大学防災研究所

協力: SEEDS ASIA, 京都大学地球環境学堂

「アジアのノンエンジニアド建物の災害リスク低減 のための分野横断的アプローチの提言」

平成26年10月27日 (月)

京都大学宇治キャンパスおうばくプラザ・セミナー室 4



ノンエンジニアド建築の工学的
知識体系の創出



フィリピンのノンエンジニアド住宅

連絡先: 西嶋一欽 nishijima.kazuyoshi.5x@Kyoto-u.ac.jp

研究集会出席者（敬称略）

- 田村幸雄（東京工芸大学）
- 檜府龍雄（JICA）
- 神吉紀世子（京都大学建築学専攻）
- 西村宏昭（京都大学防災研究所）
- Khaung Zaung（京都大学防災研究所）
- Liezl Raissa E. Tan（フィリピン大学ディリマン校）
- 鹿田光子（SEEDS Asia）
- 白土博通（京都大学社会基盤工学専攻）
- 落合知帆（京都大学地球環境学堂）
- 岡崎健二（京都大学地球環境学堂）
- 倉田真宏（京都大学防災研究所）
- 西嶋一欽（京都大学防災研究所）
- 松島信一（京都大学防災研究所）
- 宝音図（京都大学防災研究所）
- 今野大輔（東北大学工学研究科）
- 富阪和秀（京都大学防災研究所・技術室）
- 土井こずえ（京都大学エネルギー工学研究所・技術室）
- 藤本瞭一（京都大学工学研究科）
- 宮地茉莉（京都大学地球環境学堂）

レゾリューション1（外部公開）

提言

アジアの自然災害リスクを低減するためには、大多数の被害が集中しているノンエンジニアド建物に着目することが重要である。そして、効果的な被害低減を実現するためには、内生・波及的に広がることを目標とした、(a)実現・実装可能なノンエンジニアド建物の性能向上のための技術開発、(b)コミュニティの自己決定に資する防災情報の創出と教育法・ツールの開発、(c) 現地政府を含めたカウンターパートとの連携による、地元住民の暮らし・住環境の向上と一体的に取り組める持続可能な減災活動、および(d)住民が受け入れやすいインセンティブの創出が必要である。